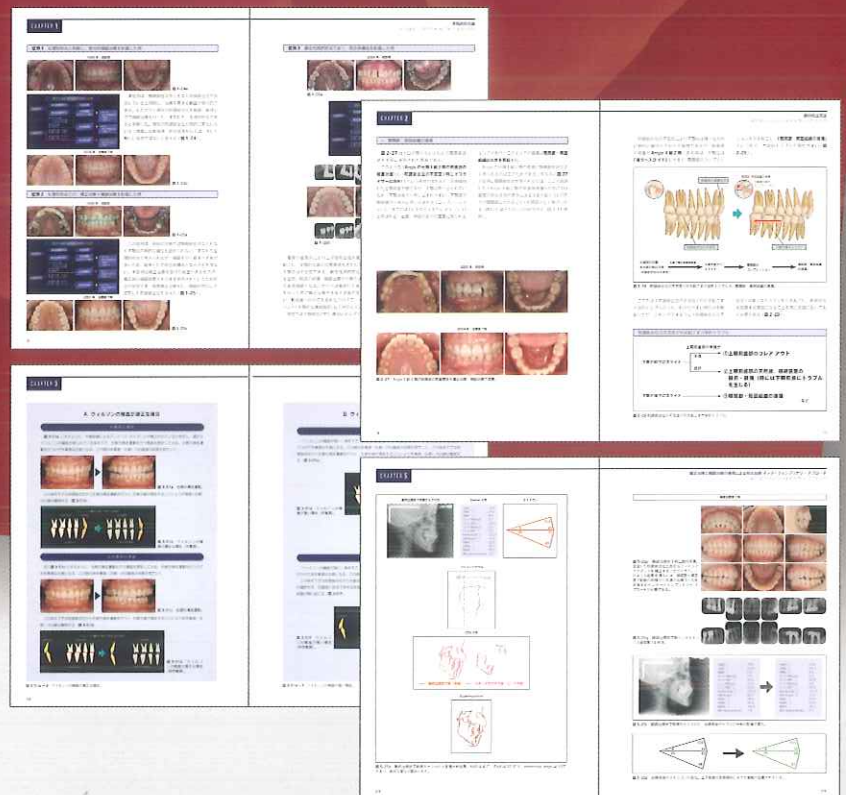


RESTORATIVE DESIGN & PRACTICAL OCCLUSION

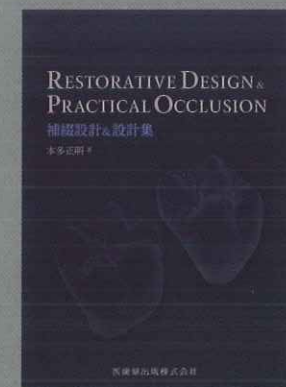
実践的咬合

本多正明 著

- “Longevity” (長期安定)を根幹とした補綴臨床について、筆者53年の歯科臨床を総括した、待望の書籍第2弾。
- 単なる治療に終わらず、包括的な治療を進めるために「咬合」を基軸とし、その臨床的な意味を解き明かします。
- “Dentistry is Occlusion”という言葉を理解し、患者に寄り添い、そして患者のQOLの回復・維持を支えるための、必読の一冊です。



本多正明先生による
咬合と補綴臨床の到達点・
実践的咬合の
極みを示した、
臨床家待望の書、
第2弾！



『Restorative Design & Practical Occlusion 補綴設計 & 設計集』と合わせて補綴臨床の神髄を学びましょう！



医歯薬出版株式会社

〒113-8612 東京都文京区本駒込 1-7-10
TEL03-5395-7630 FAX03-5395-7633 <https://www.ishiyaku.co.jp/>

■ A4判 / 296頁 / カラー
■ 定価 30,800円 (本体 28,000円 + 税 10%)
注文コード: 446920
ISBN978-4-263-44692-8



CHAPTER 1

実践的咬合論

- 1-1 咬合を学ぶ目的
- 1-2 歯科治療を成功させるための根幹
- 1-3 総合診断・治療計画
- 1-4 臨床的咬合の分類
- 1-5 下顎運動とは
- 1-6 下顎運動の決定要素
- 1-7 咬合治療の成功
- 1-8 咬合異常により影響を受ける部位
- 1-9 治療咬合

CHAPTER 2

静的咬合安定

- 2-1 咬合安定とは
- 2-2 静的咬合安定とは
- 2-3 治療咬合の臨床的指標
- 2-4 下顎位とは
- 2-5 顎関節の安定
- 2-6 下顎位を臨床的に捉える
Technical Advice
セントリックバイト採得の実際
- 2-7 下顎位の臨床的な捉え方 まとめ
- 2-8 咬頭嵌合位の安定
Technical Advice
矯正医と補綴医のインターディシプリナリー
アプローチのための参照資料
- 2-9 静的咬合安定 まとめ

CHAPTER 3

動的咬合安定

- 3-1 動的咬合安定とは
- 3-2 解剖学的コントロール
- 3-3 生理学的コントロール
- 3-4 生理的機能運動と非生理的機能運動
- 3-5 咀嚼運動
- 3-6 ブラキシズム
- 3-7 咬合様式
- 3-8 白歯離開に影響を与える因子
- 3-9 アンテリア ガイダンス
- 3-10 上下顎前歯、特に犬歯の位置と形態

CHAPTER 4

咬合診断

- 4-1 咬合診断のための基礎資料収集
- 4-2 咬合診断（口腔内）
- 4-3 咬合診断（模型上）

CHAPTER 5

矯正治療と補綴治療の連携による咬合治療
インターディシプリナリーアプローチ

- 5-1 歯の「位置」の重要性
- 5-2 咬合再構成における矯正治療の重要性
- 5-3 矯正医と補綴医の間に必要なゴールの共有
- 5-4 症例から
- 5-5 矯正医と補綴医の間で必要な共通認識事項

CHAPTER 6

補綴装置に与える咬合面形態

- 6-1 咬頭嵌合位を安定させるための配慮
- 6-2 白歯離開咬合を達成させるための配慮
- 6-3 補綴装置作製時の配慮と咬合調整
- 6-4 近遠心的に理想的な位置にない場合の補綴的配慮
(1級ではない場合)

CHAPTER 7

メンテナンスと Longevity から見た
補綴的配慮事項

- 7-1 ペリオと補綴の相関関係
- 7-2 メンテナンスから見た補綴的配慮
- 7-3 Longevity（長期安定）：
メンテナンスでのチェックポイント
- 7-4 長期予後を診る

AUTHOR'S VIEW

1. 生理的咬合なのか、病的咬合なのか、2. 「顎頭安定位」と大石先生とのディスカッション、3. 中心位の定義の変遷、4. オクルーザル アプライアンスの誤用の危険性、5. エビデンスベースで見るブラキシズムおよびスプリントの効果の今日的な理解、6. アンテリア カップリングの分類とその特徴、7. 生理的顎頭位はなぜ病的に偏位してしまうのか？咬頭嵌合位の安定とは？、8. ファンクショナルマウント or エステティックマウント、9. 下顎模型の装着

関連書籍

RESTORATIVE DESIGN & PRACTICAL OCCLUSION 補綴設計&設計集 本多正明 著

臨床家待望の書となる、本多正明先生の集大成シリーズ第1弾が堂々刊行！

包括的治療の長期症例の検証で導いた Longevity 達成のカギを余すところなく解説。咬合安定にとって最も重要な咬頭嵌合位の安定、歯列弓の保全—それを実現するための欠損歯列の診断と欠損補綴の設計が、本書により体感できます。

■ A4判 / 336頁 / カラー
■ 定価 33,000円
■ 本体 30,000円 + 税 10%
■ ISBN978-4-263-44656-0



医歯薬出版 ご注文承り書

RESTORATIVE DESIGN & PRACTICAL OCCLUSION 実践的咬合

注文コード () 冊
446920

RESTORATIVE DESIGN & PRACTICAL OCCLUSION 補綴設計&設計集

注文コード () 冊
446560

● 納入店ご指定希望
※納入店のご指定の場合
手数料はかかりません。

〔ご指定納入店名〕

● 直送希望
(2つの方法からお選びください。)

① 代引 450円
② 後払い 400円

※直送は、注文書到着の翌営業日（土日祝日除く）に発送します。②の請求書は（株）ネットプロテクションズから別送します。14日以内にお支払いください。返品は受付できません。

● お名前

● TEL

● ご住所 (〒 —)

★必要事項をご記入のうえ、FAX03-5395-7633 にご送信ください。★弊社ホームページ <https://www.ishiyaku.co.jp/> からご注文いただけます。